

## 平成20年度第2四半期(7月～9月)見通し

昨年、住宅業界が大混乱し社会問題まで発展した改正建築基準法の施行から一年が経過した。その影響はいまだ解消されず、また消費者のマインドは低下し住宅関連資材の高騰もあり非常に厳しい環境が続いている。

さて工務店での需要予測・景気動向の推移であるが平成19年度第4四半期のマイナス59.6ポイントが需要の底で、前回調査の平成20年度第1四半期は0.8ポイント回復してマイナス55.8ポイントだった。第2四半期からは緩やかな回復基調へ向かうと期待したが今回調査はマイナス56.4ポイントとなり0.6ポイント、マイナスが増え第2四半期も厳しい結果となった。

地域別に見ると北海道マイナス74ポイント、甲信越マイナス77ポイント、北陸マイナス70ポイント、関東マイナス65ポイント、近畿がマイナス63ポイントと減少が目立った。全国ベースでは微減・減少回答が63.1ポイントで回復には暫く時間がかかりそうだ。

主要メーカーによる販売予測調査では、合板・窯業/断熱群は増加回答が増えており価格高騰の後押しもあり基礎資材の需要は早く来るかもしれない。

住宅機器群は減少回答が55.6%で過去一年の四半期調査で一番悪い結果となった。現状の新設住宅着工からも本格的な需要は少し先になるだろう。

今、書店に行けば住宅雑誌やリフォーム・インテリア雑誌が多数並んでいる。

沢山置いてあるということは本が売れているからであり、住宅への関心・ニーズが高く潜在需要は多分にあると言える。

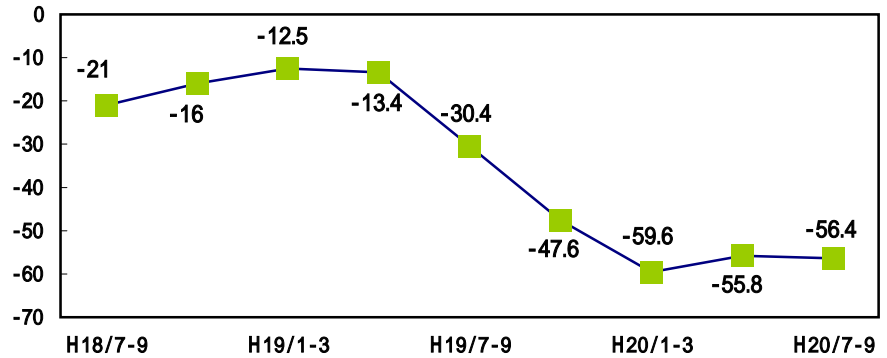
新築需要が伸び悩む一方で、既存市場におけるストック住宅や中古住宅の改修が今後見込まれる。またハウスメーカーや大手建設会社もリフォーム事業に再投資して業績を向上していることから増改築・リフォーム市場には積極的に注力していくべきである。

今回の調査結果から現状を不況とは言わず平時と考え、現状を打破する戦略・施策が必要であろう。

## 景気動向の推移

過去2年間の仕事量の見通しをポイントで表したグラフ。

ポイント

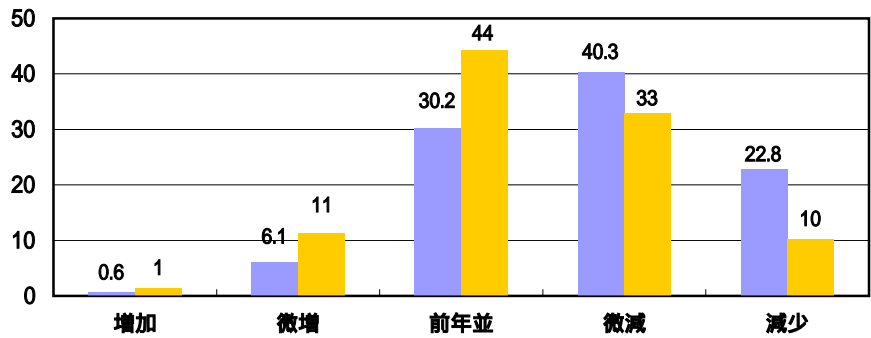


## 地域別需要予測

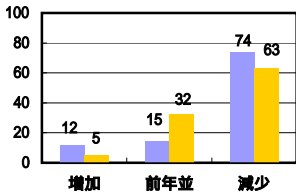
全国 回答数 3,064

「増加」「微増」「前年並」「微減」「減少」の中から選び頂き、総回答数よりそれぞれの割合を算出致しました。単位は、「%」となります。

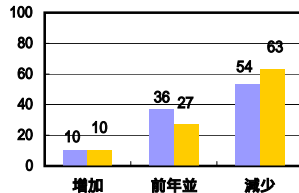
■ 平成20年度 第2四半期  
■ 平成19年度 第2四半期



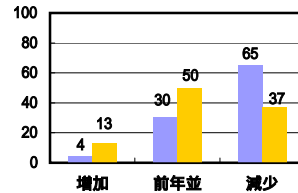
### 北海道



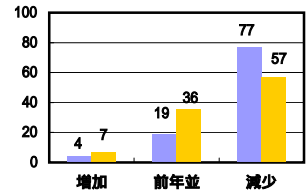
### 東北



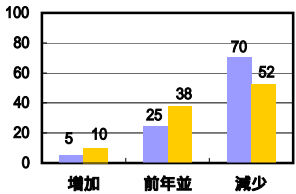
### 関東



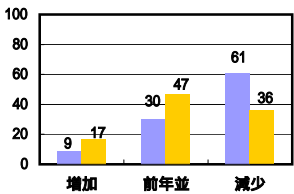
### 甲信越



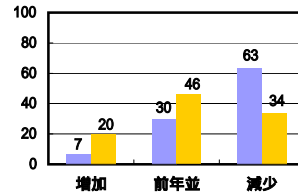
### 北陸



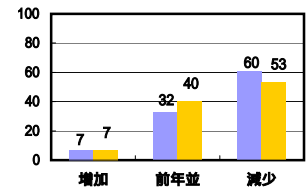
### 中部



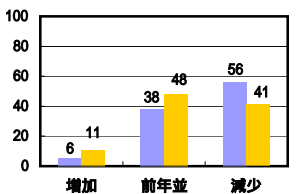
### 近畿



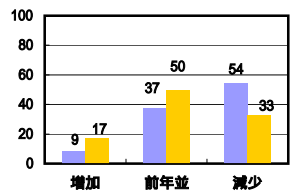
### 中国



### 四国



### 九州



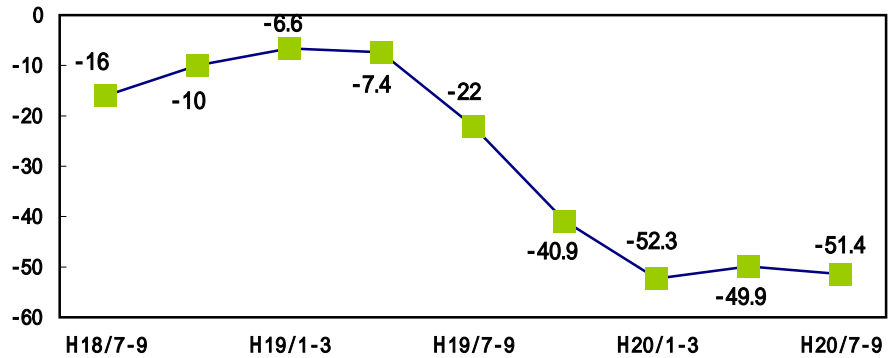
### <有効回答数>

北海道	179	中国	182
東北	299	四国	73
関東	1,101	九州	366
甲信越	208		
北陸	61		
中部	219		
近畿	375		

## 景気動向の推移

過去2年間の仕事量の見通しをポイントで表したグラフ。

ポイント

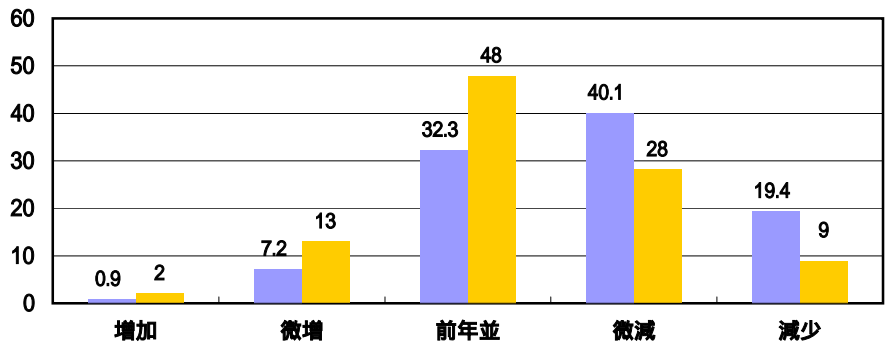


## 地域別需要予測

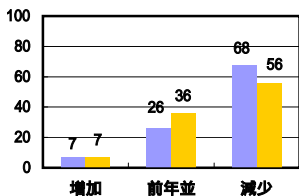
全国 回答数 3,078

「増加」「微増」「前年並」「微減」「減少」の中からお選び頂き、総回答数よりそれぞれの割合を算出致しました。単位は、「%」となります。

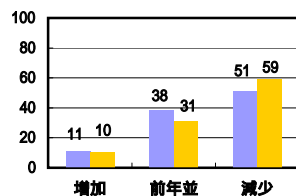
■ 平成20年度 第2四半期  
■ 平成19年度 第2四半期



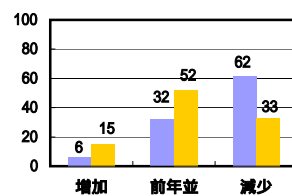
### 北海道



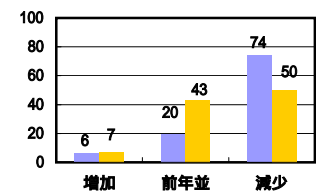
### 東北



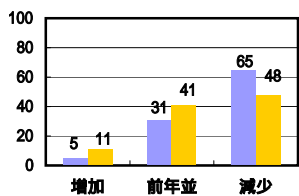
### 関東



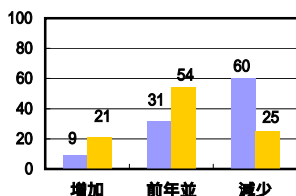
### 甲信越



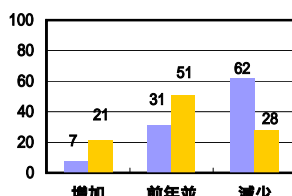
### 北陸



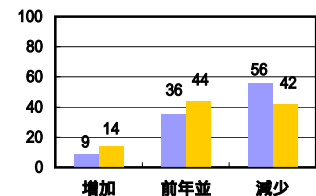
### 中部



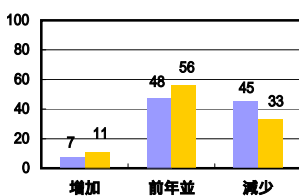
### 近畿



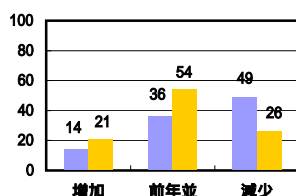
### 中国



### 四国



### 九州



### <有効回答数>

北海道	179	中国	185
東北	301	四国	73
関東	1,105	九州	367
甲信越	209		
北陸	62		
中部	219		
近畿	377		